

# 第 11 回北陸合同バイオシンポジウムのご案内

第 11 回北陸合同バイオシンポジウムを石川県加賀市山中温泉町「山中座」にて開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

## 1. 開催概要

会期: 2018 年 10 月 26 日 (金) 12:15 ~ 27 日(土) 13:00

会場: 石川県加賀市山中温泉町「山中座」(口頭講演会場)、  
「すゞや今日楼」(ポスター会場・総合討論会場・宿泊所)

事前登録期限 2018 年 10 月 9 日 (火)

要旨・自己紹介シート送付期限: 2018 年 10 月 9 日 (火)

学会 Website (<http://host-microbe.ishikawa-pu.ac.jp/hokuriku-baio/>)

参加登録用 Website (<https://goo.gl/forms/U8jSnYz6CIUdqDGR2>)

シンポジウム会場 Website (<https://www.yamanaka-spa.or.jp/yamanakaza/>)

宿泊・ポスター・総合討論会場 Website (<http://www.konnichiro.co.jp/>)

山中温泉アクセス (<https://www.yamanaka-spa.or.jp/access>)

学会会場の最寄駅は JR 加賀温泉駅、最寄りの空港は小松空港です。

10 月 26 日 (金) は、小松空港 → 学会会場、JR 加賀温泉駅 → 学会会場

10 月 27 日 (土) は、学会会場 → 小松空港、学会会場 → JR 加賀温泉駅で『北陸合同バイオシンポジウムシャトルバス』(無料・参加登録時に予約)を運行します。詳しくは交通案内をご覧ください。公共の交通機関をご利用の場合、学会会場は「菊の湯前」バス停徒歩 1 分、「山中温泉バスターミナル」バス停徒歩 5 分です。

## 2. 講演について

口頭講演者は実行委員会の推薦により既に決定済みですので、ポスター発表のみを公募しました。プログラムは以下の通りです。

### 10 月 26 日 (金)

開始	終了	演題	演者	演者所属
12:15	13:00	ランチョンセミナー	山領 佐津紀	ヒューマンメタボロームテクノロジー社 部長
13:00	13:10	初めの挨拶	三沢 典彦	石川県立大学生物資源工学研究所 教授
13:10	13:40	「カルボニル還元酵素による 3 つの不斉中心の 同時制御」	日比 慎	富山県立大学生物工学科 准教授
13:40	14:10	「NADP 合成酵素 (NAD キナーゼ) 研究の 栄光と挫折と展望」	河井 重幸	石川県立大学生物資源工学研究所 教授
14:10	14:20	休憩 1		
14:20	14:50	「ミミズで解決! 人の健康・食糧問題 ~ミミズの多様な機能性~」	赤澤 真一	長岡工業高等専門学校 物質工学科 准教授

14:50	15:20	「エピジェネティクスを基盤とした代謝プログラミングの牛肉生産への応用のポテンシャル」	後藤 貴文	鹿児島大学農学部 教授
15:20	15:30	休憩 2		
15:30	16:00	「昆虫の生得的行動を制御する神経機構」	木矢 剛智	金沢大理学部 准教授
16:00	16:30	「鳥類の脳形態とサイズや系統との関係 ～その古生物学への応用～」	河部 壮一郎	福井県立大学恐竜学研究所 准教授
16:30	17:00	「先天的と後天的な恐怖の統合メカニズムと その生理学的意義」	小早川 高	関西医科大学 附属生命医学研究所 特命准教授
17:00	17:45	宿泊所への移動		
17:45	18:45	夕食		
18:45	20:00	入浴、ポスター掲示（19:15以降）		
20:00	20:45	ポスターセッション（偶数番号）		
20:45	21:30	ポスターセッション（奇数番号）		
21:30		総合討論会 (21:30 実行委員長によるワインプレゼン、22:00 日本酒対決プレゼン)		

## 10月27日（土）

開始	終了	演題	演者	演者所属
9:00	9:30	「転写因子を標的とした慢性腎臓病治療法の 開発を目指して」	尾花 理徳	大阪大学大学院薬学研究科 助教
9:30	10:00	「金属薄膜を利用した表面支援レーザー脱離 イオン化質量分析法の開発とその応用」	大坂一生	富山県大工学部医薬品工学科 准教授
10:00	10:10	休憩 3		
10:10	10:40	「水田土壌の優占種、鉄還元菌の新機能 ～窒素肥沃度を支えるキープレーヤー～」	増田 曜子	東京大学大学院 農学生命科学研究科 特任研究員
10:40	11:10	「共生菌の病原菌的側面 —セ斯巴ニア根粒菌が R-body を生産する意義とは—」	青野 俊裕	東大生物生産工学研究センター 講師
11:10	11:20	休憩 4		
11:20	11:50	「重金属等有害元素の複合暴露に対する 土壌微生物群集の応答」	片岡 剛文	福井県立大学海洋資源学部 講師
11:50	12:20	「植物細胞壁成分リグニンの生分解とその応用」	上村 直史	長岡技術科学大学 生物機能工学専攻 助教
12:20	12:50	表彰式、終わりの挨拶		

### 3. 口頭講演を行われる方へ

参加登録サイト(<https://goo.gl/forms/U8jSnYz6CIUdqDGR2>)より参加登録をお願いいたします。期限は2018年10月9日（火）です。

また講演要旨の提出を、2018年10月9日（火）までをお願いいたします。実行委員会からのメールに添付いたしますMS Word テンプレートにご作成いただき、MS Word ファイルの形式で保存してください。この際のファイル名は筆頭発表者名のフルネームのひらがなでお願いします。ご作成いただきましたファイルを北陸合同バイオシンポジウム専用アドレス (biosympo.hokuriku@gmail.com, 石川県立大

学 本多裕司宛)へ添付書類としてお送りください。

当日はできるだけご自分のコンピューターと接続端子をお持ちください。会場でご用意いたします端子はミニ D-Sub 15 ピンコネクタ (右図) です。また、休憩時間に動作確認をお願いいたします。(会場に Windows の PC を用意しますが、ずれや文字化け等が起こる可能性があります)。



#### 4. ポスター発表を行われる方へ

参加登録サイト(<https://goo.gl/forms/U8jSnYz6CIUdqDGR2>)より参加登録をお願いいたします。また、ポスター演題の申し込みと講演要旨の提出は、2018 年 10 月 9 日 (火) までにお願いいたします。登録確認メールに添付いたします MS Word テンプレートにご作成いただき、MS Word ファイルの形式で保存してください。この際のファイル名は筆頭発表者名のフルネームのカタカナでお願いします。ご作成いただきましたファイルを北陸合同バイオシンポジウム専用アドレス (biosympo.hokuriku@gmail.com, 石川県立大学 本多裕司宛) へ添付書類としてお送りください。

ポスターは A0 サイズ縦でご用意をお願いします。当日は、19 時 15 分~20 時 00 分の間にポスター会場 (「すゞや今日楼」1 階宴会場) にご掲示ください (ポスター会場の設営の都合上、19 時 15 分以降にお願いします)。ポスターは第 2 日の朝までご掲示いただき、その後、各自でご回収ください。(第 2 日の 13 時 30 分以降に残っているポスターにつきましては、実行委員会で処分いたします。なお、処分を希望される方は、回収不要です。)

#### 5. 発表を行わずに参加される方へ

参加登録サイト(<https://goo.gl/forms/U8jSnYz6CIUdqDGR2>)より参加登録をお願いいたします。また、自己紹介シートの提出を 2018 年 10 月 9 日 (火) までにお願いいたします登録確認メールに添付いたします MS Word テンプレートにご作成いただき、MS Word ファイルの形式で保存してください。この際のファイル名は筆頭発表者名のフルネームのひらがなでお願いします。ご作成いただきましたファイルを北陸合同バイオシンポジウム専用アドレス (biosympo.hokuriku@gmail.com, 石川県立大学 本多裕司宛) へ添付書類としてお送りください。

#### 6. 昼食について

シンポジウム初日 (10 月 26 日 (金)) の昼食については、ヒューマンメタボロームテクノロジー社によるランチョンセミナーをシンポジウムと同じ会場で開催いたします。12:15 開始です。無料のお弁当をご用意いたしますので、是非、ご参加ください。なお、シンポジウム終了後の昼食は各自でお取りください。

#### 7. シンポジウムまでのスケジュール

10 月 9 日 (火) 要旨提出の期限

10 月 22 日 (月) 学会費用振り込みの期限

10 月 24 日 (水) 学会シャトルバスの予約の期限

10 月 26 日 (金) 第 11 回北陸合同バイオシンポジウム 第 1 日

10 月 27 日 (土) 第 11 回北陸合同バイオシンポジウム 第 2 日

## 8. 参加登録と参加費について

シンポジウムならびに情報交換会への参加登録は、の専用サイト

(<https://goo.gl/forms/U8jSnYz6CIUdqDGR2>) にて 2018 年 10 月 9 日 (火) までに事前登録を行い、10 月 22 日 (月) までに参加費をご入金ください。当日参加は受け付けておりませんので、予めご承知おきいただけますよう、お願いします。

### 学会費用

	1泊2日		1日目のみ(総合討論会参加)		1日目のみ(総合討論会不参加)		2日目のみ	
	参加費	総合討論会・宿泊費	参加費	総合討論会費	参加費		参加費	
学生	0円	11,000円	0円	8,000円	0円		0円	
社会人	5,000円	11,000円	5,000円	8,000円	5,000円		5,000円	

参加費の入金先は下記の口座です。

銀行名：ゆうちょ銀行

口座名：第11回北陸合同バイオシンポジウム実行委員会

口座番号など：

a. ゆうちょ銀行からご入金の場合(手数料が安いです。)

記号: 13120

番号: 21592821

b. ゆうちょ銀行以外からご入金の場合

店名：三一八

店番：318

預金種目：普通預金

口座番号：2159282

#### 【主催】

石川県立大学生物資源環境学部・生物資源工学研究所  
実行委員長：三沢典彦(生物資源工学研究所)

#### 【共催】

公益社団法人 日本生物工学会中部支部  
公益社団法人 日本農芸化学会中部支部

金沢大学医薬保健研究域  
東京大学生物生産工学研究センター  
富山県立大学生物工学研究センター  
福井県立大学生物資源学部(50音順)

#### 【協賛】

加賀市コンベンション助成

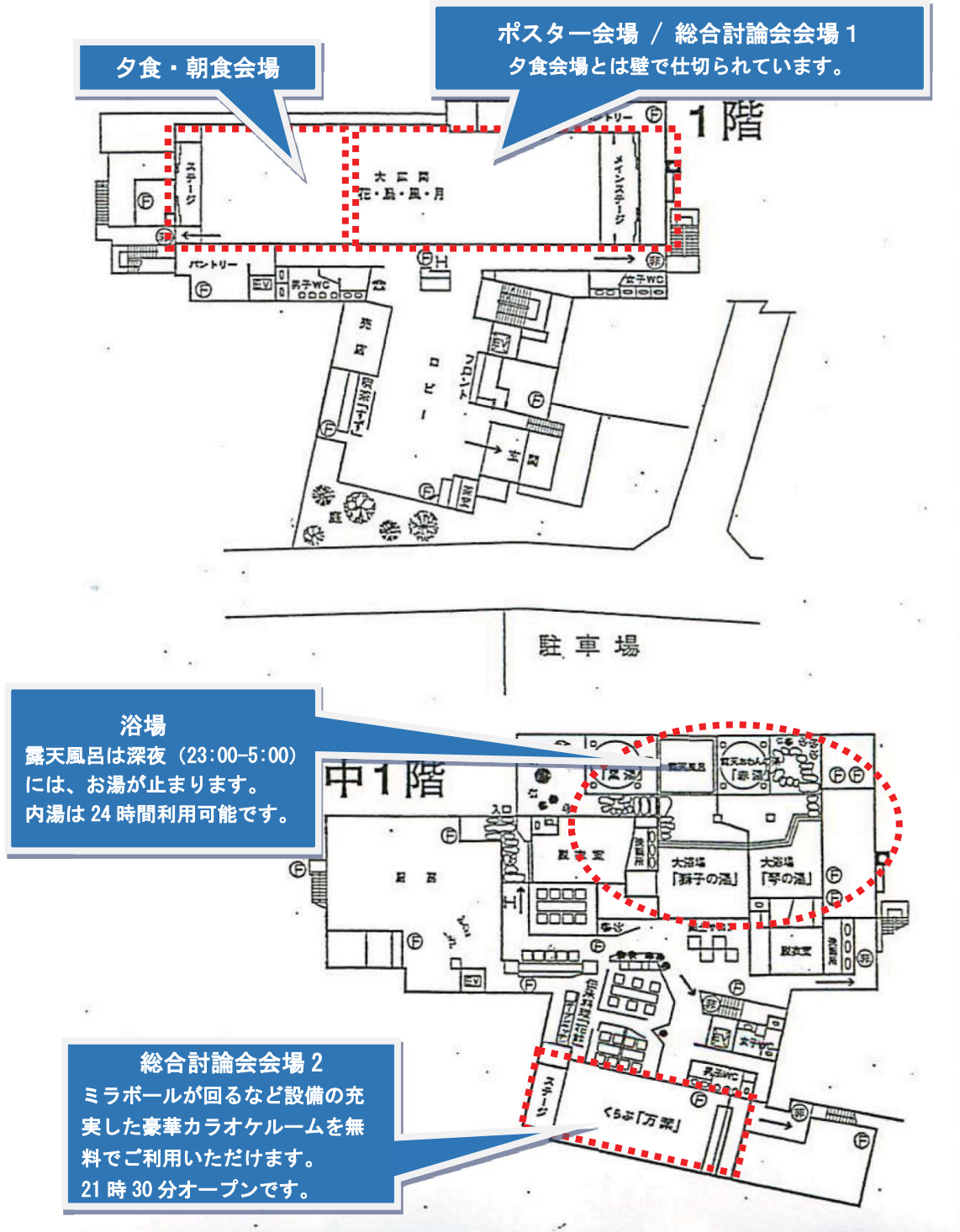
#### 【世話人会】

栗原 新(代表世話人)、小柳 喬、小椋 賢治、本多 裕司、馬場 保徳(石川県立大学)  
倉石 貴透(金沢大学)  
青野 俊裕(東京大学)  
奥 直也、日比 慎(富山県立大学)  
志田 洋介(長岡技術科学大学)  
伊藤 崇志、黒川 洋一(福井県立大学)

#### お問い合わせ先

第11回北陸合同バイオシンポジウム事務局  
〒921-8836  
石川県野々市市末松1-308 石川県立大学 腸内細菌共生機構学講座 栗原 新  
Tel: 076-227-7522(直通)  
専用メールアドレス: polyamine2018@gmail.com

## 宿泊所「すゞや今日楼」案内図



## 【ポスター発表演題一覧】

1. 放線菌とミコール酸含有細菌の複合培養～抗生物質のトロイの木馬戦略～  
○浅水 俊平<sup>1</sup>、アブロリ アグス チャヤ プラマナ<sup>1</sup>、尾仲 宏康<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東大院・農学生命科学研究科・微生物潜在酵素（天野エンザイム）寄付講座
2. メタン発酵効率化のためのルーメン微生物を利用した植物バイオマスの連続可溶化  
足立明香、後藤暢宏、楠部孝誠、河井重幸、馬場保徳  
石川県大学・生物資源工学研究所
3. 培地のC、内から効くか？外から効くか？～出芽酵母 *sod1 Δ* の増殖に与えるアスコルビン酸の効果～  
小柳 ゆかり、五十嵐 香澄、○尼子 克己  
仁愛大・人間生活学部・健康栄養学科
4. マウス筋芽細胞株を用いたタウリン及びその誘導体の抗サルコペニア効果の検討  
○伊藤駿太、伊藤崇志、宮下晶恵、村上茂  
福井県立大学大学院 生物資源学研究科 機能食品学分野
5. 米タンパク質分解物を添加したグルテンフリー米粉パンの製パン性  
○井上 七海、本多 裕司  
石川県大・生物資源環境学部・食品科学科
6. 2アミノ酸網羅的置換による hSUMO2 変異体の TNF- $\alpha$  親和性および特異性の最適化  
○植前 光基、角岡 良亮、牧野 祥嗣、伊藤 伸哉  
富山県立大学・工学部・生物工学科・応用生物プロセス学講座
7. 増殖できない高温下におけるコリネ型細菌の長時間有機酸生産反応  
○内倉 寛斗<sup>1</sup>、仁宮 一章<sup>2,3</sup>、高橋 憲司<sup>2</sup>、柘植 陽太<sup>2,3</sup>  
<sup>1</sup>金沢大・自然システム、<sup>2</sup>金沢大院・自然科学、<sup>3</sup>金沢大・新学術

8. メタン発酵液中の微生物による植物病原菌 *Fusarium oxysporum* の防除に向けた検討  
○大川直人、楠部孝誠、河井重幸、馬場保徳  
石川県立大学・生物資源工学研究所
9. ニホンウナギ由来蛍光タンパク質 UnaG 発現サフォードウイルスの作製  
○大桑 孝子、姫田 敏樹、宇谷 公一、樋口 雅也  
金沢医大・医学部・微生物学講座
10. *Proteus mirabilis* の新規プロテシニンエクスポートターの探索  
○太田宏一<sup>1</sup>、阪中幹祥<sup>1, 2</sup>、杉山友太<sup>1</sup>、栗原新<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>石川県立大学大学院 生物資源環境学研究所 応用生命科学専攻  
<sup>2</sup> National Food Institute, Technical University of Denmark
11. 木喰いガニの消化管微生物群集構造解析およびリグノセルロース分解酵素の探索  
○大野公雅<sup>1</sup>、後藤暢宏<sup>1</sup>、楠部孝誠<sup>1</sup>、河井重幸<sup>1</sup>、三宅克英<sup>2</sup>、馬場保徳<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>石川県立大学生物資源工学研究所、<sup>2</sup>名城大学理工学部
12. 魚醤の NMR メタボロミクス  
○小椋賢治、林 万里、太田龍一、松本祐奈、小柳 喬  
石川県大・生物資源環境学部・食品科学科
13. イネ新品種「福井県大水稻 1 号」によるパン用良質米粉の製造～グルテンフリー米粉パンの開発～  
○金田啓太郎<sup>1</sup>、高田佳堯<sup>1</sup>、勝 麻衣<sup>1</sup>、角田優子<sup>1</sup>、杉本雅俊<sup>2</sup>、細野泰弘<sup>3</sup>、  
三浦孝太郎<sup>1</sup>、高橋正和<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>福井県大・生物資源学部・生物資源学科、<sup>2</sup>福井県食品加工研究所、  
<sup>3</sup>スカイミルネードジャパン(株)
14. 生体膜透過性・水溶性の挙改善を指向した機能性低分子化合物のβリジンペプチド修飾  
○兼田康平<sup>1</sup>、武内大和<sup>2</sup>、加藤康夫<sup>3</sup>、丸山千登勢<sup>1,2</sup>、濱野吉十<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>福井県大・生物資源、<sup>2</sup>福井県大院・生物資源、<sup>3</sup>富山県大院・生工研セ

15. バクテリアのリグニン・ $\beta$ -aryl ether 代謝で生成するアセトフェノン類のカルボキシル化変換機構の解明  
○菊入 祐生、竹浪 寛樹、樋口 雄大、上村 直史、政井 英司  
長岡技術科学大学・生物
16. 抗生物質 Resormycin 生合成遺伝子群の同定と機能解析  
○黒川紗緒里<sup>1</sup>、山中一也<sup>2</sup>、五十嵐雅之<sup>3</sup>、濱野吉十<sup>1</sup>、丸山千登勢<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>福井県大・生物資源、<sup>2</sup>関西大・化学生命工、<sup>3</sup>微化研
17. 低プロオキシダント性抗酸化物質ライブラリー化合物の生体高分子に対する安定化効果の評価  
○黒川洋一、青木健太、三浦歩馬、伊佐純一  
福井県立大学・生物資源学部
18. 酸素をスイッチとしたコリネ型細菌中央代謝経路の切り換え  
○小林 俊介<sup>1</sup>、村井 克輝<sup>1</sup>、川口 秀夫<sup>2</sup>、仁宮 一章<sup>1,3</sup>、高橋 憲司<sup>1</sup>、近藤 昭彦<sup>2</sup>、柘植 陽太<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>金沢大院・自然科学、<sup>2</sup>神戸大院・イノベ、<sup>3</sup>金沢大・新学術
19. 鉄結合性ユビキチンリガーゼ HRZ による鉄栄養制御  
○小林 高範、メイサンアウン、増田 寛志、瀬野浦 武志、西澤 直子  
石川県大・生物資源工学研究所
20. 液体表面培養したカバノアナタケが生産する生理活性物質の寿命延長作用  
○小林 亮太<sup>1</sup>、米田 任伸<sup>1</sup>、高柴 則子<sup>2</sup>、櫻井 明彦<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>福井大院・生物応用化学専攻、<sup>2</sup>福井大院・総合創成工学専攻、<sup>3</sup>福井大・生物応用化学講座
21. 長時間運動におけるラットの筋肉中でのタウリンの変動  
○小松澤里帆<sup>1</sup>、伊藤崇志<sup>1</sup>、宮崎照雄<sup>2</sup>、大森肇<sup>3</sup>、村上茂<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>福井県立大学・生物資源学部、<sup>2</sup>東京医科大学・筑波医療センター、<sup>3</sup>筑波大学・体育系運動生化学領域



22. 脳及び内耳形態に基づく角竜類 *Triceratops* の生態の解明  
○坂上 莉奈<sup>1</sup>、河部 壮一郎<sup>2,3</sup>  
<sup>1</sup>福井県立大学大学院 生物資源学研究所、<sup>2</sup>福井県立大学 恐竜学研究所、<sup>3</sup>福井県立恐竜博物館
23. 生食に向けた中島菜の改良～トライコーム原因遺伝子領域の同定～  
○坂本 勝汰<sup>1</sup>、高木 宏樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>石川県大・生物資源環境学部・生産科学科
24. *Sphingobium* sp. SYK-6 における金属元素取り込みメカニズムの解明  
○佐久本 太一、藤田 雅也、森 光佑、上村 直史、政井 英司  
長岡技術科学大学・生物
25. オレイン酸を用いた w/o/w エマルジョンの調製および評価  
○佐野七海、谷川有里、牧野祥嗣、伊藤伸哉  
富山県立大学 工学部 生物工学科 応用生物プロセス学講座
26. ヒト腸内細菌 *Bacteroides thetaiotaomicron* のカルボキシスペルミジンデカルボキシラーゼの遺伝学的・生化学的解析  
○下川 ひろみ<sup>1</sup>、阪中 幹祥<sup>1, 2</sup>、栗原 新<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>石川県立大学 生物資源環境学部 <sup>2</sup> National Food Institute, Technical University of Denmark
27. 大腸菌によるイソプレノイド効率生産のためのパスウェイエンジニアリング  
○須藤 尚史<sup>1</sup>、八反 順一郎<sup>2</sup>、竹村美保<sup>2</sup>、原田 尚志<sup>3</sup>、新藤 一敏<sup>4</sup>、三沢 典彦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>石川県大院・生物資源環境学研究所・応用生命科学専攻、<sup>2</sup>石川県大・生物資源工学研究所、<sup>3</sup>鳥取大院 応生工、<sup>4</sup>日本女子大 家政
28. *Rhodospiridium toruloides* のカロテノイド生産制御機構の解析  
○高見沢 健留<sup>1</sup>、Khanh Dung Pham<sup>1</sup>、志田 洋介<sup>1</sup>、山崎 晴丈<sup>2</sup>、森 和樹<sup>3</sup>、油谷 幸代<sup>4</sup>、田代 康介<sup>3</sup>、久原哲<sup>3</sup>、高久 洋暁<sup>2</sup>、小笠原 渉<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>長岡技科大・工学研究科・生物機能工学専攻、<sup>2</sup>新潟薬科大学・応用生命科学部・応用生命科学科、<sup>3</sup>九州大学・農学部・応用生物化学、<sup>4</sup>産業総合研究所 創薬基盤研究部門

29. 機能性分子の・-poly-L-lysine 修飾による生体膜透過性・水溶性の挙改善  
○武内大和<sup>1</sup>、牛丸和乗<sup>2</sup>、加藤康夫<sup>3</sup>、丸山千登勢<sup>1</sup>、濱野 吉十<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>福井県大院・生物資源、<sup>2</sup>産総研、<sup>3</sup>富山県大・生工研セ
30. チーズの低温熟成に適した乳酸菌の選抜  
○田島 稔明、大月 都瑚、伊藤 貴文、日辛 隆雄  
福井県立大学 生物資源学部
31. 放線菌由来 1-aminocyclopropanecarboxylic acid synthase の機能解析  
○茅根千湖<sup>1</sup>、丸山千登勢<sup>1</sup>、橋本絢子<sup>2</sup>、小曾根郁子<sup>2</sup>、新家一男<sup>3</sup>、濱野吉十<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>福井県大院・生物資源、<sup>2</sup>JBIC、<sup>3</sup>産総研
32. 低窒素環境での植物の生育を改善する優良アリの検索  
○チャガンジャン、櫻庭康仁、柳澤修一  
東京大学・生物生産工学研究センター
33. 山廃酒母中において乳酸菌の生育に影響を及ぼす要因の探索  
○鶴貝 采映<sup>1</sup>、辻 篤史<sup>2</sup>、小柳 喬<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>石川県大・生物資源環境学部・食品科学科、<sup>2</sup>石川県工業試験場・化学食品部
34. 担子菌 *Hericium coralloides* 由来ラッカーゼの異宿主発現および有用物質生産への応用  
○戸田 弘、三矢満里奈、伊藤伸哉  
富山県大・工学部・生物工学科
35. ポリアミン合成系遺伝子を操作した大腸菌を導入したノトバイオートマウスによるヒトと腸内細菌の相互作用の解析  
○永井 栄美子<sup>1</sup>、北田 雄祐<sup>2</sup>、松本 光晴<sup>2</sup>、栗原 新<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>石川県大・生物資源環境学部、<sup>2</sup>協同乳業・研究所
36. *Paenibacillus* 属細菌由来アルギン酸リアーゼの立体構造解析  
○中川 えみ、伊藤 貴文、木元 久、日辛 隆雄  
福井県立大学 生物資源学部

37. BD-12 類縁化合物における *O*-acylpeptide 構造の生合成研究  
 ○永嶋世蓮<sup>1</sup>、新倉春香<sup>2</sup>、丸山千登勢<sup>1,2</sup>、橋本絢子<sup>3</sup>、新家一男<sup>4</sup>、濱野吉十<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>福井県大・生物資源、<sup>2</sup>福井県大院・生物資源、<sup>3</sup>JBIC、<sup>4</sup>産総研
38. かぶら寿司由来 *Lactobacillus sakei* における突然変異ライブラリーの育成および  
 変異解析手法の確立  
 ○西山 知里<sup>1</sup>、高木 宏樹<sup>1</sup>、小柳 喬<sup>2</sup>、馬場 保徳<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>石川県大・生物資源環境学部・生産科学科、<sup>2</sup>石川県大・生物資源環境学部・食品  
 科学科 <sup>3</sup>石川県大・生物資源工学研究所
39. 新規動物モデル細胞を目指した *Eisenia* sp. 細胞培養法の構築  
 ○長谷川 輝<sup>1</sup>、伊佐 猛<sup>1</sup>、赤澤 真一<sup>1</sup>、大沼 清<sup>2</sup>、志田 洋介<sup>2</sup>、小笠原 渉<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>長岡高専・物質工、<sup>2</sup>長岡技科大・生物
40. 子囊菌 *Talaromyces trachyspermus* による Spiculisporic acid の効率的生産  
 ○林 真人、高野 真希、星野 一宏  
 富山大学大学院 理工学教育部 生命工学
41. エゴノリの生活習慣病予防効果  
 ○平澤ちひろ<sup>1</sup>、木村公一<sup>1</sup>、川崎安都紗<sup>1</sup>、小野鮎子<sup>1</sup>、杉浦彩香<sup>1</sup>、矢田知美<sup>1</sup>、  
 伊藤崇志<sup>1</sup>、高橋正和<sup>1</sup>、新木順子<sup>2</sup>、村上茂<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>福井県立大学・生物資源学部、<sup>2</sup>輪島海美味工房
42. 節足動物のトランスクリプトーム解析～新規アスタキサンチン生合成遺伝子の同  
 定の試み～  
 ○深谷 祐貴<sup>1</sup>、竹村 美保<sup>1</sup>、眞岡 孝至<sup>1,2</sup>、佐原 健彦<sup>3</sup>、三沢 典彦<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>石川県大・生物資源工学研究所、<sup>2</sup>生産開発研、<sup>3</sup>産総研・生物プロセス部門
43. 高濃度メチオニン存在下における *Sphingobium* sp. SYK-6 株のリグニン代謝阻害  
 ○保里 明日香、荒木 拓馬、上村 直史、政井 英司  
 長岡技術科学大学・生物

44. エマルションドロップレット内菌体密度定量法の開発  
○本間 宣行<sup>1</sup>、中村 彰宏<sup>1</sup>、田中 裕真<sup>1</sup>、鈴木 義之<sup>1</sup>、志田 洋介<sup>1</sup>、森田 雅宗<sup>2</sup>、  
野田 尚宏<sup>2</sup>、小笠原 渉<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>長岡技科大院・生物機能工学、<sup>2</sup>産総研・バイオメディカル
45. 生体膜透過性・水溶性の挙改善を志向した抗がん剤ドキソルビシンの  $\epsilon$ -poly-L-lysine 修飾  
○松村文香<sup>1</sup>、武内大和<sup>2</sup>、加藤康夫<sup>3</sup>、丸山千登勢<sup>1,2</sup>、濱野吉十<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>福井県大・生物資源、<sup>2</sup>福井県大院・生物資源、<sup>3</sup>富山県大院・生工研セ
46. 腸内細菌が持つカロテノイド生合成遺伝子相同配列の機能解析  
○松本 航<sup>1</sup>、七浦 春風<sup>1</sup>、竹村 美保<sup>1</sup>、眞岡 考至<sup>1,2</sup>、栗原 新<sup>3</sup>、三沢  
典彦<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>石川県立大学・生物資源工学研究所、<sup>2</sup>一般財団法人生産開発科学研究所  
<sup>3</sup>石川県立大学・腸内細菌共生機構学寄付講座
47. コリネ型細菌における増殖至適温度と中央代謝経路の最適温度の違い  
○水野 光<sup>1</sup>、豊田 晃一<sup>2</sup>、仁宮 一章<sup>1,3</sup>、高橋 憲司<sup>1</sup>、乾 将行<sup>2</sup>、柘植 陽  
太<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>金沢大院・自然科学、<sup>2</sup> RITE、<sup>3</sup>金沢大・新学術
48. 色素依存性脱水素酵素を用いた新規ヒドロキシプロリン検出デバイスの構築  
○宮脇 さつき<sup>1</sup>、里村 武範<sup>1</sup>、末 信一郎<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>福井大・工学研究科・生物応用化学専攻、<sup>2</sup>福井大学・工学研究科・繊維先端工学  
専攻
49. ジンチョウゲ樹皮に含まれる Daphnodorin の血糖値上昇抑制作用  
○矢田知美<sup>1</sup>、杉浦彩香<sup>1</sup>、平澤ちひろ<sup>1</sup>、伊藤崇志<sup>1</sup>、谷口雅彦<sup>2</sup>、村上茂<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>福井県立大学・生物資源学部、<sup>2</sup>大阪薬科大学・薬学部
50. 難培養性超好熱菌由来新規酵素探索方法の開発  
○山本 大賀<sup>1</sup>、里村 武範<sup>1</sup>、末 信一郎<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>福井大院・工学研究科・生物応用化学専攻、<sup>2</sup>福井大院・工学研究科・繊維先端工  
学専攻

51. 環境バイオセンサーや新規宿主としての開発を目指したミミズの形質転換系開発

○山谷竜大, 神田直輝, 竹内綾, 町田悠, 赤澤真一

長岡工業高等専門学校 物質工学科 微生物化学研究室

52. *Paenibacillus* 属細菌 FPU-37 株における遺伝子操作系の構築

○米田 祐貴<sup>1</sup>、吉見僚太<sup>1</sup>、木元 久<sup>1</sup>

<sup>1</sup>福井県立大学大学院・生物資源学研究科